

雲ノ平を訪ねて（個人山行）

（報告）TI

◎期日：2024年8月4日～8月8日

◎メンバー：TI、他1名



薬師沢小屋の小屋番さんのやまとけいこさんの『黒部源流山小屋暮らし』を読んでから一度は薬師沢小屋に泊まってみたいと思っていた。渓流釣りが趣味の夫も黒部源流で一度は釣りをしてみたいと思っていたようで今回の山旅となった。

【1日目】

前日の早朝自宅を出発し松本～平湯経由で折立に入り車中泊。折立の駐車場はほぼ満車状態。無料のテント場はこのところ熊の出現が相次ぎ害獣除けの電気柵で囲まれていた。

朝5時スタートの予定だったが寝坊して6時過ぎのスタートとなってしまった。しかし通常歩行時間の1.4倍で行動計画を立てていたので昼過ぎには宿泊地の太郎平には着くだろうと考えていたのだが、序盤の急登で夫の足が早々と攣ってしまいなかなか前に進まず予定時間を大幅に上回って三角点ベンチに到着。ここからは登りも少し緩やかになり花もたくさん出てきて写真を撮ったりして進んで行くが、太郎平小屋に着くのに9時間もかかってしまった。

夕食後は小屋前から薬師岳や黒部五郎岳、遠くには槍ヶ岳の北鎌尾根まで見ることもでき、明日からの山旅がますます楽しみになった。

【2日目】

今日も朝から良い天気だ。薬師沢小屋までは下り中心なのでゆっくり川を見ながら行こうという事で遅めの7時過ぎに出発。

第一渡渉点まで結構下った後は途中、渓流釣りをしている人に声をかけたり花々を眺めながら歩き屋前に薬師沢小屋に到着した。黒部の源流の出合に建つ薬師沢小屋は渓流釣りが目的の利用し連泊する人が多いようだ。受付を済ませ小屋前のテラスで川を眺めながら昼食を摂る。昼食後、夫は明日の偵察と川に、私は雲ノ平への登山口の確認に。そして小屋番のやまとけいこさんに持ってきた『黒部源流山小屋暮らし』の本にサインしてもらう。

【3日目】

さあ今日はいよいよ雲ノ平だ。サブザックに水と雨具など必要最低限の物を入れ、昨晚の雨で滑りやすいので気をつけるように言われ緊張しながら5時過ぎに小屋を出た。

登っても登っても終わりの見えない急登に覚悟はしていたが、何度も心が折れそうになる。途中、出会った人から「登りきれば素晴らしい眺望が待ってますよ」の言葉を信じ登る事2時間余りようやく最初の楽園「アラスカ庭園」に到着だ。目の前には水晶岳・赤牛岳・黒部五郎岳。振り返れば薬師岳が。そして遠くには昨年登った槍ヶ岳も見ることができた。まだ朝早い時間の為、周りには誰もおらず、広い広い雲ノ平に自分一人だけという贅沢な時間を過ごし雲ノ平山荘で休憩をして下山することに。時間的には少し早い気もしたが、自分には登りより下りに時間がかかりそうな気がしたからだ。案の定、相当手こずり登りよりも時間がかかってしまったが無事に小屋に戻ることができた。

【4日目】

当初の予定では薬師沢から一気に折立まで下れそうだと考えていたが、太郎平までの登りや初日の夫の状態を考えると太郎平小屋でもう1泊する事にした。したがってこの日もスタートはゆっくりとなった。薬師沢小屋からカベツケ原までは少し登るがここら第一渡渉点まではのんびりお花畑を眺めながら歩き、最後、太郎平小屋までの手前までは喘ぎながら登り屋少し過ぎに太郎平小屋に到着でき、名物の太郎平ラーメン(行者ニンニク入り)を食べることができた。休憩後、裏山の太郎山に出かけたが残念ながらガスってしまい、眺望を望むことはできなかった。

【5日目】

長かった山行も今日が最終日。朝、ラジオ体操をして折立に向けて下山を開始。最後の急坂の下りには参ったが5日間天気に恵まれ素晴らしい日を過ごすことができた事に感謝。

《コースタイム》

1日目：折立 6:30→三角点 11:10→後光ベンチ 14:00→太郎平小屋 15:40(泊)

9時間 10分

2日目：太郎平小屋 6:30→薬師沢小屋 11:05(泊)

4時間 35分

3日目：薬師沢小屋 5:15→アラスカ庭園 7:35→祖母岳 8:40→雲ノ平山荘 9:15

アラスカ庭園 11:00→薬師沢小屋 13:50(泊)

8時間 35分

4日目：薬師沢小屋 6:40→太郎平小屋 11:00(泊)

4時間 20分

5日目：太郎平小屋 6:55→後光ベンチ 7:50→三角点 9:20→折立 11:30

4時間 35分